

News of Peace No.27

桜区平和を考える会会報

2021年4月号



学習会

(2021年3月28日 土合公民館)

「新型コロナウイルスのワクチンについて」

新型コロナウイルスの緊急事態宣言により3回の延期がありましたが、今回はコロナの学習会をおこないました。

「ワクチンの未来」と「コロナワクチンの仕組みとその問題点について」というビデオを見て、討論をしました。

ファイザー社のワクチンでは、アレルギーとして、血が止まらなくなる血小板減少症、アナフィラキシーショック、関節リウマチなどの症状がでる可能性があります。

アストラセネカ社では、ワクチンで人のDNAを書き換えてしまうために発がんの可能性があるとのこと。また、変異ウイルスが発生した地域は同社が昨年治験を行った場所であり、ワクチンが強すぎてそれに対抗するためウイルスが過激に変異した可能性もあります。



また、「政府の説明だけが正しい」とする報道は、異論を許さない雰囲気があり、まるで戦時中のような声もあります。

今回のワクチンは、臨床実験も少なく、生殖機能に影響があるのではという話も聞きます。コロナ感染の心配はありますが、メディアに惑わされず、ワクチン接種に慎重に対応する必要があると思います。

「ワクチンの未来」

<https://www.bitchute.com/video/5ij9mo0aSCLb/>



「コロナワクチンの仕組みとその問題点について」

新潟大学医学部(元)

教授・名誉教授 岡田正彦 氏

<https://www.youtube.com/watch?v=WEM2xoyz900>



(もくじ)

学習会	1
「新型コロナウイルスのワクチンについて」	
発熱などの症状があったら	
.....どうする？	2
動物福祉	3
切り抜き帳(ダイオキシン 山中に半世紀)	4
会の活動報告・予定	4

発熱などの症状があったら……どうする？

新型コロナウイルスによる発熱などの症状があった場合の連絡先や注意点、桜区内の受付病院の一覧を掲載しました。病院により、受付曜日、時間帯、小児の受付可否などが違いますので、ホームページで確認するか、相談センターや病院に問い合わせをしてください。

発熱などの症状がある場合は、 受診の前に医療機関に電話で相談

発熱などの症状がある場合は、他の患者や医療従事者などへの感染を防止するため、**医療機関に直接行かない**でください。

医療機関により、診察の時間帯などを分けている場合がありますので、

事前に受診方法を確認してください。

また、仕事や学校を休んで、外出を控えるようにしてください。ご自身のためだけではなく、感染拡大の防止にもつながる大切な行動です。

(受診機関に迷う場合の相談先)

●埼玉県受診・相談センター

受診先の確認や、医療機関を受診すべきか迷う場合などの対応を相談。

9：00～17：30（日曜日を除く）

048-762-8026

048-816-5801(FAX)

●埼玉県新型コロナウイルス感染症 県民サポートセンター

受診先の確認のほか、一般的な相談。

24時間

0570-783-770

048-830-4808(FAX)

「埼玉県指定診療・検査医療機関」

(桜区田島)

○おちあい脳クリニック

048-710-7575 (要予約)

○すこやかファミリークリニック

048-872-0022 (要予約)

○つばさか耳鼻咽喉科クリニック

048-826-5477 (要予約)

○医療法人 伴友会 伴医院

048-862-5917 (要予約)

◎三宅耳鼻咽喉科医院

048-839-4711 (要予約)

(桜区西堀)

○医療法人栄寿会 林病院

048-855-5511 (要予約)

○松内内科医院

048-862-4003 (要予約)

(桜区上大久保)

◎西部総合病院

048-854-1111 (要予約)

(桜区白鰐)

◎川村医院

048-855-2279 (要予約)

(桜区神田)

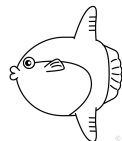
◎くぼた内科クリニック

048-855-5771 (要予約)

○自院のかかりつけ患者のみ

◎広く受け入れる

(曜日・時間帯などは、
ホームページ参照)
[https://flu-
search.pref.saitama.lg.
jp/](https://flu-search.pref.saitama.lg.jp/)



動物福祉

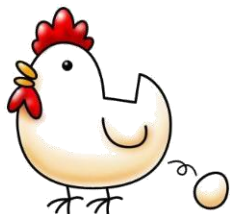
鳥インフルエンザの猛威に考える

人も鳥も同じ 新型コロナと同じく密を避けることが大事

新型コロナの流行で、ニュースでの扱いは大きくはありませんが、今冬、西日本を中心に毒性の強い「鳥インフルエンザ」が猛威をふるっています。関東にも拡大して、年が明けてからも千葉県で2度目の発生を見ています。拡大は止まらず、発生県数は14県にまで及んで、鶏の殺処分数は、すでに450万羽をこえて、過去最悪のペースとなっています。新型コロナウィルス感染で外食需要が低迷する中での鳥インフルエンザ拡大で、業者にとっては二重の苦しみとなっています。

新型コロナウィルスと同じように鳥インフルエンザも、密のところではパンデミックが起こるのではないのでしょうか。考えてみると、養鶏場では、鶏は大規模で、『密』の状態で飼われています。本来はばたく生き物なのにはばたきも出来ず、バタリーケージは、足元も金網なので安心して眠ることもできないといえます。それでは免疫力も低くなりますから、ウィルスにも弱くなるのは当然です。鳥インフルエンザは、人にもうつって命にかかわることもありますから、対策を急いでほしいと思います。

快適な環境で育てられた健康な鶏が生んでくれる卵は、私たちの健康にとっても安全でおいしいは



ずです。人や社会、環境、動物に配慮して作られたものを購入しようとする消費行動は世界の流れとなっていくと思われます。日本でもすでに100%ケージフリーの卵だけを使うという業者が現れています。



鳥インフルエンザについて、ウィルス学者から次のような指摘があります。「やっぱりな」と納得できるものでるので紹介しておきます。

①農業研究所の記事05、11、15

「オタワ大学のウィルス学者・アール・ブラウンがカナダの鳥インフルエンザ勃発後に『高密度飼育は強毒性鳥インフルエンザ・ウィルスを生み出す完璧な環境である』と指摘した。他の専門家もこれに同意する。

さらにブラウン氏は、野鳥にみられるウィルスは一般的には危険性が非常に小さいとし、それとは逆に、ウィルスが層層強毒なものに変異するのは、それが高密度の家禽の群れに入るときであると指摘する。

②10月、国連タスクホース

鳥インフルエンザ・パンデミックの根源の一つとして“巨大な数の動物を小さな空間に密集させる農業方法”をあげた。（安田節子氏の「命の講座」より引用）

ダイオキシン 山中に半世紀 除草剤26トン、42市町村に流出懸念

猛毒のダイオキシンをふくむ除草剤約26トンが、15道県42市町村の山中に半世紀前から埋められたままになっていることが、林野庁への取材でわかった。うち12道県20市町村の約18トンは、林野庁の通達と異なる方法で出先機関が埋めたままという。林野庁は地域の安全に問題はないとしているが、近年は豪雨などで土砂崩れが相次いでおり、岩手県や福岡市などは除草剤の流出を懸念して、撤去を求めている。

林野庁はかつて国有林の植林時にこの除草剤を使っていた。ネズミの研究で胎児の奇形が指摘されたことなどから、1971年に使用を中止。

6割余りはメーカーに返還したが、残った分は処分法がないとして、17道県50市町村の国有林に埋めたと説明している。

林野庁は「安全な無害化方法が確立されず、掘りだす際に飛散も懸念される」と説明。林野庁の専門家委員会は「地域住民の生活に及ぼす影響はない」としている。現在、年2回の目視による点検のほか、大雨や地震の後に異常がないと確認しているという。

だが、一部の自治体は「記録的な豪雨が全国で多発している」（福岡市）として撤去を求めている。

（朝日新聞・社説から）

【会の活動報告】

- 12月19日（土） 運営スタッフ会議 土合公民館
- 1月31日（日） 運営スタッフ会議（緊急事態宣言により延期）
- 2月14日（日） 運営スタッフ会議（緊急事態宣言により延期）
- 3月14日（日） 運営スタッフ会議（緊急事態宣言により延期）
- 3月28日（日） 運営スタッフ会議 土合公民館

【これからの予定】

- 4月24日（土） 運営スタッフ会議 大久保公民館

会員募集中！
カンパ大歓迎



桜区平和を考える会 ホームページ

- ・パソコンでは『桜区平和』で検索
- ・スマホでは右のQRコードから

<http://spa.g1.xrea.com/>
<http://spa.g1.xrea.com/smh/>



振込口座：ゆうちょ銀行

口座番号：00270-8-104990

加入者名：桜区平和を考える会

年会費：1,000円（カンパ大歓迎）

振込手数料はご負担ください

発行：桜区平和を考える会

（連絡先）

090-8588-4966（今井）

090-4433-7092（小高）

090-6120-3411（佐藤）